

ざのいきょうかい しんぶん がぞく ひと いっしょ よ くだ
* 堺教会CS新聞「いずみのひろば」は家族の人と一緒に読んで下さい。

いずみのひろば

2019年8月号
日本基督教団堺教会
No. 489 教会学校



神さまのご計画

（創世記45:1-8）

ヤコブの子どもヨセフさんは12人兄弟の下から2番目。上に10人のお兄さんがいました。ところがヨセフさん、お父さんのヤコブにいちばん可愛がられていたこともあって、お兄さんたちはヨセフのことをあまりよく思っていない。「ヨセフさえいなければ。」と、いつも思っていました。だから、ある日、ヨセフさんを裸にして穴に落としてしまいました。

穴に落とされたヨセフさんはミデアン人に助けられましたが、今度はエジプトへ売り飛ばされてしまいました。ヨセフさんは、エジプトで、そのショックとさみしさの中で大人になりました。しかし、ヨセフさんはエジプトの王様に気に入られ、エジプトの総理大臣になりました。

カンカン照りで、麦も野菜も果物もなんにもできない年が2年続いて、食べる物がなくなったヨセフのお兄さんたちがエジプトへ食べ物を買いに来ました。しかしエジプトも食糧不足。なかなか外国の人にまで食べ物を売ってもらえません。そこでお兄さんたちは、この国の総理大臣に会い、食べ物を売ってもらえるようにお願いすることにしました。

お兄さんたちは、まさか自分の弟のヨセフがこの国の総理大臣になっているなんて知りません。総理大臣のヨセフさんは、一目見て「あっ、お兄さんたちが来た。」ってわかりましたが、お兄さんたちは、目の前の総理が自分の弟だとは全く気づきません。ヨセフさんは、ついにたまらなくなくなって、お兄さんたちに言いました。「お兄さん、ぼくです。ヨセフです。」

ヨセフさんは、エジプトへ売られて、つらい、さみしい思いをしたけれど、お兄さんたちのことを全く恨んでいません。赦しています。それは、この出来事もきっと神さまのご計画、神さまのお考えだと信じていたからです。事実、ヨセフさんがエジプトで総理大臣になっていたからこそ、お兄さんたちは食糧を買うことができ、お父さんのヤコブも弟のベニヤミンも家族みんなでエジプトへ来て、生き延びることができました。

わたしたちも、なかなか自分の思いどおりにいなくて、つらい思いをすることがあっても、いつも心を静かにして、神さまのお考えがどこにあるのか、神さまのご計画がどこにあるのかを神さまに聞きましょう。わたしたちには、いつも神さまがついてくださっているのですから、どんなにつらいときでも、神さまが必ず正しく導いてくださいます。

（お話 忠岡博先生）

